

## 福知山市住民自治検討会議（第12回）概要報告

〔日 時〕平成30年12月21日（金）10:00～12:00

〔場 所〕ハピネスふくちやま 多目的室

〔出席者〕委員…11人、事務局…8人、傍聴者…8人

### ■開会

### ■意見交換

#### ① 前回の振り返りから（公民館の役割等について）【資料1】

- ・ 地区公民館が組織づくりを担うのではなく、自治会が地区公民館単位で集まって、組織づくりを担っていくと考えられる。
- ・ 地区公民館を含めて、自治会のみなさんが中心となり地域づくり組織の立ち上げの検討がされると思う。ただ、実際に運営していく上で公民館を基盤として各活動をしていくのか、地区公民館はあくまで組織体の一部として協力していくのか今後検討が必要になる。
- ・ 地域づくり組織を将来的にはNPO法人にして、ある程度の営利的な事業を行うとも考えられる。その場合、地区公民館をどう扱うのかという検討はまた必要になる。
- ・ 他市では、わたしたちが考える地区公民館は存在せず、地区公民館が、地域づくり組織の仕事を担っている事例があった。
- ・ 中学校単位で組織ができた場合は、コミセンを建物として使うことやコミセンと共同で活動をすることが予想される。
- ・ コミセンも今のやり方では、地域づくり組織の包括的な立場の役割を担うことはできない。ただし、条例改正により新たに組織を包括できる立場とすることもできると思う。

#### ② 福知山市における住民自治のあり方について【資料2】

- ・ 小学校区単位から組織の立ち上げを行っていくと考えられるが、将来的には中学校区でまとまっていくことも想定されるため、地域づくり組織の区域を「中学校区単位を基本とする」という表現でかまわない。
- ・ 役割の部分に「地域づくり組織は地域間の様々な団たちとの調整機能を持ち、自治組織として自治会をはじめとした地域活動を支えていくことが必要。」など、自治にかかる組織であることを記載する必要がある。

#### ③ 地域づくり組織設立に向けて市が検討しなければならない事項【資料3】

##### （1）次年度の検討体制について

- ・ 本年度は大枠について議論をいただいた。今後は設立に係る具体的な事項（人

的支援や財政支援など)について市で整理、作成した案を改めて議論いただく場を設ける予定。

- ・ 新たに設立を考えている組織の中核を担う方と話ができれば、具体的な制度もかためていきやすいと思う。
- ・ 設立要件などは早く提示してほしい。自治会長が12月改選の自治会が多い。4月になってから提示されてしまうと、動きが1年遅くなってしまう。
- ・ 地域の方に理解いただくのに時間はかかるものの地域が動くためにも、行政にも準備を急いでいただく必要はある。
- ・ 既存の3協議会は何も制度が整理されていない中で設立した。協議会の立ち位置が明確でなかったり、協議会が認知されていなかったりということは大きな壁となった。行政が、理想像を作らなければ、住民の中へ浸透していかない。早急に整理してもらわなければならないと思う。
- ・ 設立しようという機運を消してはいけない。スピード感をもって進めていくべき。
- ・ 条例として決めたものならば、行政が主体でまずは推し進めなければならない。行政の責任として提案し、それに住民が参画していくのだと考える。

## (2) 既存の3協議会について

- ・ 次年度の検討の場では、少なくとも支援策について検討する上で、3協議会について意見を伺うことがあると思う。
- ・ 次年度の3協議会への支援については、現状の考え方で予算なども動いている。ただし、再来年度以降については、旧市内でも立ち上げを考えている組織もあるので、制度を構築してその中で組織づくりや活動を進めていってもらいたいと考えている。
- ・ 「今後設立される組織への支援とは切り離して検討する必要があるのではないか。」とあるが、福知山市全体として地域づくり組織をどうするのかという話であるため、3地域協議会についても検討をする必要は生じ、完全に切り離すというわけではない。

## (3) 地域づくり組織設立への支援について

- ・ 中間支援組織や伴走型という外部からの目で共に設立から支援をする方は大切だと思う。自分達で気づけない部分も見えてくるはず。
- ・ 他市では、町単位に地域づくり組織のための指導員を配置している。いくつかの組織を順番にまわって活動をされている。支援員については、市の職員がそれをする場合もあれば、専門的に外部から呼ぶ場合もある。
- ・ 各地域で組織を立ち上げる際には、まず住民に理解を得ることを慎重に行わなければならない。乖離現象を起こしてしまう。
- ・ 設立を検討している団体が、3協議会に教えを請うような場(研修の機会)を設定してほしい。
- ・ 地域づくり組織は自主性が一番大切だと思う。行政が予算付けをおこなったり、組織の位置づけをおこなったりすることはもちろん必要なことであるが、並行し

て自主的な動き（アンケートによる住民の意識調査など）は早い段階で進めていく方がよいと思う。

（４）地域づくり組織、自治基本条例の周知について

- ・ 昨年度、地域で講座を開かれていた。これからも、まちづくりにかかる講座を開催してほしい。市民への浸透が必要。
- ・ 浸透させるためには、講座を繰り返し実施していかなければならない。
- ・ 自治会長でも知らない方は多いので、自治会長会で自治基本条例や地域づくり組織の内容に時間を割いたらよいと思う。

<まとめ>

まとめとして、福知山市における住民自治のあり方（資料２）及び地域づくり組織設立に向けて市が検討しなければならない事項（資料３）のとおり。

今後については、実際に設立に向けて住民が動き出すことができるよう、一定のタイムスケジュールのもと、具体的方策（要件や要綱、支援内容など）を早期に提案できるよう行政として準備を進めてもらう。